

2018.11.3

土祝 15:00  
14:30 開場

りゅーとぴあ

新潟市民芸術文化会館コンサートホール

Niigata-City Performing Arts Center "RYUTOPIA" Concert Hall

# 三浦一馬 キンテート 2018

ガーシュウィン & Piazzolla

サマータイム (ガーシュウィン)  
ラブソディ・イン・ブルー (ガーシュウィン)  
アディオス・ノニーノ (ピアソラ)  
リベルタンゴ (ピアソラ) 他  
※全編曲：三浦一馬 ※曲目は変更の可能性がございます。

りゅーとぴあ友の会 全席 ¥2,000  
会員特別優待価格

りゅーとぴあ友の会で入会の方は、特別優待価格となります。友の会の入会のお問い合わせは Tel.025-224-5631 ※入会には約1か月ほど要しますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

通常価格：S ¥4,000 | A ¥3,000 | B ¥2,000  
チケット発売日 / N-PAC mate (友の会) 6/15 (金) 一般 6/21 (木)

【お問い合わせ・お申込み】

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル

TEL：025-224-5521 (11:00～19:00 / 休館日は除く)

【チケット取り扱い】

- りゅーとぴあ
  - 新潟伊勢丹
  - セブン・イレブン (セブンチケット <http://7ticket.jp/>)
- ※りゅーとぴあ以外では取り扱いのない席種もございますので事前にご確認ください。

インターネットでもチケットをお求めいただけます。

- りゅーとぴあオンライン・チケット  
<http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

主催 公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団、BSN新潟放送

【企画制作】りゅーとぴあ事業企画部

<http://www.ryutopia.or.jp>



KAZUMA MIURA QUINTET 2018 & Piazzolla

バンドネオン	三浦一馬
ヴァイオリン	石田泰尚
コントラバス	黒木岩寿
エレキギター	岡本和也
ピアノ	山田武彦
ドラム	石川 智

三浦、石田、黒木、岡本、山田 @ Shigeto Imura

石川 @ Fumiaki Fujimoto

# KAZUMA MIURA QUINTETO 2018

## Gershwin & Piazzolla

### 三浦一馬が挑む、ピアソラの王道「クインテット」

1990年生まれの三浦一馬は、10歳のときにテレビで偶然バンドネオンを目にした。まるで「年代物の写真機」のような趣の楽器。元々無類の機械好きだった三浦は一瞬にして目を奪われ、どこか深い悲しみをたたえた音色には心を捉われた。その8年後の2008年、「天才バンドネオン奏者登場」の一報が世界中を駆け巡る。第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たした。以来、ピアソラと言えば三浦一馬、三浦一馬と言えばピアソラの名がすぐ出るようになった。それから10年後の2018年。アストル・ピアソラが後期に取り組んだクインテット（五重奏）の再現に挑む。バンドネオン・ヴァイオリン・ピアノ・コントラバス・エレキギターというオリジナル編成により、ピアソラの伝統を守りつつも、アグレッシブな感性でタンゴへと迫る。またもう一つのメインはガーシュウィン。りゅーとぴあでも大絶賛を博した石田泰尚をはじめとする、国内最高峰の実力派音楽家が結集した。期待を遥かに凌駕する、大人の「ラブソディ・イン・ブルー」を聴かせてくれるに違いない。本気のピアソラと、上質なガーシュウィン。作曲家と直に対話するような濃密な時間を、ぜひりゅーとぴあで過ごして欲しい。

【りゅーとぴあ 音楽企画課】

### 三浦一馬 Kazuma Miura

— バンドネオン —



10歳でバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオン界の最高峰ネストル・マルコーニ氏と出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまでマルコーニ氏に師事。2008年国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝。2011年別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチ女史やユニー・パシュメット氏らと共演して大きな話題と絶賛を呼んだ。2015年出光音楽賞（2014年度）を受賞。2016年7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でパカロフの「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。ピクチャーエンタテインメント（株）より4枚のCDをリリース。2017年自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市き親善大使」に就任し、ますます活動の幅を広げる。

### 石田泰尚 Yasunao Ishida — ヴァイオリン —

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。2001年より神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川県フィルの顔」として現在までその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。数々のオーケストラと共演、全国でソロコンサートも行う、幅広いレパートリーを誇るソリストとしての顔も持つ。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」、新しいスタイルのピアソラを追及した「トリオリベルタ他、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。公式サイト <http://musiciansparty.jp/artist/ishida/>

### 黒木岩寿 Iwahisa Kuroki — コントラバス —

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。1987年安宅賞受賞。88年福島賞受賞。東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師、(財)神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を経て、現在は東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者。水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京ソリステン、ジャパン・チェンバー・オーケストラ、トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズ、バロック・バンドのバヴィメント・ジャパン、ラ・ストラヴァガンツァ東京のメンバー。桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学講師。また、映画音楽（「おくりびと」等）やコマーシャル、ドラマ等、ジャンルを超えたパフォーマンスでも活動中。自らの企画「文化人類学講座」はじめ多彩な企画公演は好評を博している。

### 岡本和也 Kazuya Okamoto — エレキギター —

高知県立岡豊高等学校ギター部にて松居孝行氏に師事。桐朋学園芸術短期大学へ入学後、佐藤紀雄氏のもとで研鑽を積む。高知県器楽コンクール独奏、重奏の部優勝、下八川記念音楽奨励賞、第29回日本ギター重奏コンクール優勝、第32回全国スペインギターコンクール次席入賞。現在バロックから現代曲まで垣根なく演奏活動をしている。ギターデュオ「Led grooover」として「クラシックギターでロックを!!」を合言葉に活動中、1st、ベストアルバム [AROUND THE NEW WORLD]、1st、アルバム [豪傑] をリリース。現代音楽作品を中心としたコンサートシリーズ「対話」を企画。W=レインタート、J=ボディ、H=バスケス、J=リッター、下山一二三、三善晃、たかの舞例、田口和行らの作品、また自らの作品も取り上げこれまでに数多くの初演、再演を手掛ける。アウラ音楽院入谷教室金曜日講師、桐朋女子中高ギター部にて指導をしている。

### 山田武彦 Takehiko Yamada — ピアノ —

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。その後パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に留学、審査員の満場一致により首席で一等賞（ブルミエ・プリ）を得て卒業。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。2004年より「イマジンセタコンサート」音楽監督、2007年より「下丸子クラシックカフェ」マスター役を担当するなど、ユニークなコンサートの企画にも参加している。これまで洗足学園音楽大学において作曲及びピアノコース統括責任者を歴任、現在同大学教授。（全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事。）

### 石川智 Satoshi Ishikawa — ドラム —

ブラスバンドでパーカッションを演奏していた兄の影響で、9歳の頃からパーカッションを始める。中学時代、同級生と組んだロックバンドで初めてドラムを叩き始める。高校時代はフュージョン、ハードロック等にいそしみ、大学在学中にパーカッションを始め、ラテン音楽に目覚める。その中でも特にブラジル音楽に傾倒、サンバ、ボサノヴァをはじめ、ブラジルのあらゆるリズム、奏法、アンサンブルスタイルをマスターする。この頃よりプロとしての演奏活動を開始。あらゆるセッション、レコーディングに積極的に参加し、その共演者やジャンルは多岐にわたる。

チケットのお求めは **りゅーとぴあチケット専用ダイヤル**

**TEL:025-224-5521**

(11:00～19:00/休館日を除く)

- りゅーとぴあ・新潟伊勢丹・セブン-イレブン（セブンチケット <http://7ticket.jp/>）
- りゅーとぴあオンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

\* 未就学児童はご入場いただけません。また小学生以上の方はチケットが必要です。  
\* お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。  
\* やむをえない事情により内容、出演者等が変更されることがあります。  
\* 車椅子席はチケット購入時にお申し出ください（りゅーとぴあのみで取り扱います）。

#### サポートシステムのご案内

お申し込み先/りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

【託児室】 ※公演日の2週間前までにお申し込みください。なお定員になり次第、締切らせて頂きます。  
対象：生後6ヶ月以上～小学校2年生まで  
託児料：未就学児1人1,000円、小学1・2年生1人1,500円  
※公演日前1週間を過ぎてのキャンセルは託児料と同額のキャンセル料が発生します。  
【難聴者赤外線補聴システム】あらかじめお申し込みください。

### りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2



- 新潟駅万代口より車で15分
- 開越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
- 新潟駅万代口よりバスで15分～20分
- 萬代橋ライン(BRT) 青山方面行「市役所前」下車徒歩5分
- 新潟空港より車で30分

### 三浦一馬 キンテートツアースケジュール

2018年

- 10/25 (木) 大田区民ホール・アブリコ
- 11/3 (土) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
- 11/4 (日) 東大和市市民会館 ハミングホール
- 11/23 (金) 多賀城市文化センター多賀城市市民会館
- 11/24 (土) 所沢市民文化センター ミューズマーキーホール
- 11/25 (日) キャラホール・都南公民館
- 12/13 (木) 電気文化会館 ザ・コンサートホール
- 12/14 (金) ザ・シンフォニーホール

2019年

- 2/24 (日) めぐるパーシモンホール
- 3/9 (土) 稲城市立iプラザ